

一般社団法人 日本感染症学会

第95回総会資料

2021年4月18日 13時30分～14時30分

有楽町朝日ホール

報告事項

- 第1号 令和2年度事業報告について
- 第2号 令和3年度事業計画および正味財産増減予算書について

審議事項

- 第1号議案 貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録
(2021年2月末日現在) 承認について
- 第2号議案 理事および監事の承認について
- 第3号議案 次期会長承認について
- 第4号議案 次々期会長候補者選任について
- 第5号議案 次々期総会開催地および会期について
- 第6号議案 名誉会員および功労会員承認について

その他

報告事項

第1号 令和2年度事業報告について

1. 2020年度優秀業績の表彰

2020年度優秀業績については慎重に検討された結果、

舘田 一博氏（東邦大学医学部微生物・感染症学講座）

「Investigation of the susceptibility trends in Japan to fluoroquinolones and other antimicrobial agents in a nationwide collection of clinical isolates: A longitudinal analysis from 1994 to 2016」(Journal of Infection and Chemotherapy 2019 Vol. 25, No. 8 p594-604)

以上、1件に二木賞が授与されることとなった。

柳川 泰昭氏（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター）

「Clinical Features and Gut Microbiome of Asymptomatic *Entamoeba histolytica* Infection」(Clinical Infectious Diseases 2020)

上記の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

2. 講演会

令和2年8月19日～8月21日、グランドニッコー東京 台場およびWEB配信において第94回学術講演会を舘田一博会長のもとで開催した。

参加人数：3,270人

会長講演1題、特別講演3題、招請講演3題、緊急企画2題、基調講演10題、教育講演22題、特別企画6題、イブニングシンポジウム8題、アフタヌーンシンポジウム1題、シンポジウム60題、第2回臨床研究促進助成中間報告1題、三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告1題、教育セミナー1題、ランチョンセミナー27題、ICD講習会1題、市民公開講座（FUSEGU2020企画）1題

一般演題318題（口演：158題、口演（英語）：22題）、ポスター：138題）

※開催日が変更となったため、上記一般演題のうち口演49題、ポスター38題取り下げ。

3. 雑誌刊行

1) 感染症学雑誌

第94巻1号より逐次刊行した。（第94巻4号：コロナ特集号）

地方会学術集会プログラムを掲載した。

2) Journal of Infection and Chemotherapy

Vol. 26, No. 1より逐次刊行した。

インパクトファクター：1.722

JIC Award 2020 (Vol. 26 p1177-80)

Yoshimura Yukihiko, *et al.*

Clinical Characteristics of the Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Outbreak on a Cruise Ship

JIC Reviewer of the Year 2020

Dr. Yosuke Aoki (Saga University Hospital)

Dr. Yohei Doi (University of Pittsburgh School of Medicine)

4. 地方会

・第69回東日本地方会学術集会は、令和2年10月21日～10月23日の3日間、宮崎義継会長のもとで第67回日本化学療法学会東日本支部総会（石井良和会長）と合同開催としてWEB配信で行われた。

特別講演2題、招請講演2題、教育講演15題、シンポジウム21題、ミニシンポジウム5題、初心者のための入門講座13題、症例から学ぶ感染症セミナー1題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー1題、ICD講習会1題、教育セミナー14題

一般演題 106題（感染症：67題、化療：39題）

参加人数 1988名

・第63回中日本地方会学術集会は藤田直久会長のもとで、第90回西日本地方会学術集会は渡邊浩会長のもとで令和2年11月5日～7日の3日間、第68回日本化学療法学会西日本支部総会（柳原克紀会長）と合同開催でアクロス福岡およびWEB配信で開催された。

特別講演3題、教育講演12題、会長企画シンポジウム1題、シンポジウム13題、JaSAシンポジウム1題、日本環境感染合同シンポジウム1題、パネルディスカッション4題、ワークショップ4題、感染症入門講座19題、委員会報告1題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー1題、症例から学ぶ感染症セミナー1題、ICD講習会1題、スイーツセミナー4題、ランチョンセミナー14題、モーニングセミナー4題、中日本地方学術奨励賞選考セッション12題、研修医セッション32題（中日本：15題、西日本：14題、化療：3題）、学生セッション10題（中日本：4題、西日本：2題、化療：4題）

一般演題：107題（中日本：22題、西日本：52題、化療：33題）

参加人数 2010名

5. 感染症専門医審議委員会

1) 感染症専門医試験合格者 81名

(敬称略)

秋根 大	秋山裕太郎	阿部 祥英	有水 遥子	飯島 健太	飯田 康	五十嵐謙人	石川 尊士
石原 正樹	磯目 賢一	井上 恵理	井本 和紀	宇田紗也佳	大江 千紘	大澤 良介	大塚 正樹
岡田 雄大	奥野 英雄	奥村 俊彦	小田井 剛	小野健太郎	小野 大輔	加賀城美智子	加藤 早紀
加藤 裕史	川崎 剛	北野 弘之	草野 泰造	小坂 篤志	齋藤 真	佐野安希子	佐原 利典
澤木 賢司	鹿野 博明	柴田 怜	柴多 渉	清水 真澄	田岡 隆成	高橋健一郎	高松 茜
高村 典子	高柳 晋	竹下 健一	武田 啓太	田島 靖久	田代 研	寺前 晃介	中河 秀憲
中田 奈々	中本 貴人	西川 浩文	西原 悠二	西村 翔	丹羽 一貴	濡木 真一	野本 英俊
花田 豪郎	樋口 大	菱矢 直邦	船木 孝則	船津 洋平	古川恵太郎	古川 牧緒	古川龍太郎
松井 俊大	松尾 貴公	松村 拓朗	三島 伸介	水野 真介	三橋 達郎	宮里 悠佑	村田 健介
本村 良知	森 信好	柳沢 龍	山入 和志	山崎 晶夫	山下 優	山田 晴士	山室 亮介
山本 翔大							

2) 更新者 235名

令和3年1月1日現在専門医数 1,630名

3) 指導医 52名

4) 感染症専門医認定研修施設 319施設 (ホームページ参照)

5) 感染症診療体制充実および人材育成に関する要望書を厚生労働大臣、文部科学大臣、経済再生担当大臣、全国知事会宛に提出した。

6. インフルエンザ委員会

1) 提言「今冬のインフルエンザと COVID-19 に備えて」を2020年8月3日にHPにて公開した。

7. 感染症遺伝子検査委員会

1) 「多項目遺伝子関連検査の実施指針について(改訂)」を日本臨床微生物学会と合同で、2020年12月25日に公開した。

8. 臨床研究促進委員会

1) 第3回日本感染症学会臨床研究促進助成(2020年度)

受賞者: 櫻井 亜樹 氏(藤田医科大学医学部感染症科)

研究課題: *Aeromonas* 属細菌感染症の臨床像の検討と分子生物学的解析

2) シンポジウム開催

第94回日本感染症学会学術講演会

シンポジウム: あなたの日常診療を科学にしよう

Accepted Paper Session - 臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有する -

3) Institut Merieux Young Investigator Awards 2020 (若手研究者賞)

受賞者: 金森 肇 氏(東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染制御・検査診断学分野)

4) レジオネラ症の起因菌分布に関するサーベイランス検討WG会議を開催した。

5) COVID-19 重症化因子探索事業を開始した。

9. 学際化国際化委員会

1) 学際化

・プライマリ・ケア連合学会との共催セミナー開催

・Japan Sepsis Alliance に学会として参加(日本救急医学会、日本集中治療医学会、日本感染症学会)

2) 国際化

・第94回日本感染症学会学術講演会

招請講演1(ESCMID)、招請講演2(IDSA)

・19th International Congress on Infectious Diseases (19th ICID) においてシンポジウムを共催する(2021年に再延期)。

10. ワクチン委員会

1) 「COVID-19 ワクチンに関する提言」を作成し、2020年12月28日に第1版、2021年2月26日に第2版をHPに公開した。

2) 新型コロナウイルスワクチン接種の接種順位の位置づけについて意見した。

3) “風疹ゼロ”プロジェクトに賛同した。

11. 男女共同参画推進委員会

1) 第94回学術講演会にて、シンポジウム「活躍する女性感染症医一次世代へのメッセージ」を行った。

12. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連

1) HP公開資料(*は他団体合同・協力)

- ・「新型コロナウイルス感染症に対する臨床対応の考え方-医療現場の混乱を回避し、重症例を究明するために-」*
- ・「新型コロナウイルスの検査法に関する技術協力について」

- ・「感染蔓延期における医療体制の在り方とお願い—新型コロナウイルス感染症患者を診療される先生方へ—」*
- ・「血中抗 SARS-CoV-2 抗体検査キット 4 種の性能に関する評価結果」
- ・「新型コロナウイルス感染症に対する検査の考え方—遺伝子診断、抗体・抗原検査の特徴と使い分け—」*
- ・「ファビピラビル観察研究中間報告（2020 年 5 月 15 日現在）」*
- ・「一般市民向け 第一波を乗り越えて、いま私たちに求められる理解と行動」*
- ・「COVID-19 一般治療に関する観察研究」のご協力のお願ひ（日本東洋医学会）
- ・日本内科学会、日本感染症学会合同声明文
- ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する胸部 CT 検査の指針（Ver. 1.0）」*
- ・リウマチ・膠原病患者の COVID-19 の情報提供のお願ひ（The Global Rheumatology Alliance）
- ・「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた熱中症予防に関する提言」『新しい生活様式』下における熱中症予防に関する学術団体からのコンセンサス・ステートメント*
- ・「新型コロナウイルス核酸検査に係わる施設基準ならびに、検体搬送・精度管理の方針【提言】」*
- ・「無症状者に対する SARS-CoV-2 検査での注意点」*
- ・「COVID-19 に対する薬物治療の考え方」第 2 版～第 6 版*
- ・「唾液を用いた PCR や抗原検査における検体採取や検査の注意点」*
- ・「ファビピラビル観察研究中間報告（2020 年 6 月 26 日現在）」*
- ・「新型コロナウイルス感染症流行下における熱中症対応の手引き（医療従事者向け）」*
- ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針 第 1 版」*
- ・「COVID-19 検査法および検査の考え方」
- ・「COVID-19 簡易抗原定性検査の“偽陽性”に関するアンケート調査」
- ・「COVID-19 に対するシクレソニド投与の観察研究」*
- ・「COVID-19 ナファモスタット観察研究」*
- ・「血中抗 SARS-CoV-2 抗体簡易検査キット 4 種の性能に関する検討」*
- ・「Significant Scientific 1000 Evidences about COVID-19」（古川俊治参議院議員）
- ・「花粉症患者の中に紛れ込む新型コロナウイルス感染症のリスク—“あやしい”と感じたときには積極的な検査を—」*

2) 症例報告

投稿数：113 報

3) COVID-19 院内感染対策検討ワーキンググループ

施設内感染についてのアンケート調査を行い HP に公開した。

4) 他団体合同・協力

- ・ SNS を活用した新型コロナウイルス（COVID-19）に対する個別情報提供システム（神奈川県）
- ・ 医療機関における心理職の心理的サポート（日本臨床心理士会）
- ・ 日本学術会議第二部大規模感染症予防・制圧体制検討分科会に館田理事長が参加した。
- ・ 新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する厚生労働省対策推進本部アドバイザー・ボードメンバーとして館田理事長が参加した。
- ・ 日本内科学会 COVID-19 対策チームへ館田理事長が参加した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症神奈川対策本部 IT 班より、「COVID-19 Information Value Improvement and Link Project（CIVIL project）」の協力依頼があり、聖マリアンナ医科大学・國島広之先生に当学会からの委員として協力を依頼した。
- ・ 日本疫学会、日本公衆衛生学会、日本環境感染学会と連名で「感染症対策のためのデータ収集システムの構築と利活用に関する要望書」を内閣府特命担当大臣、厚生労働大臣に提出した。

5) 寄贈・寄付等

- ・ 中華人民共和国駐日本国大使館よりマスク 5,000 枚の寄贈
- ・ ゼンショーHD スーパー部門（マルヤ）より ¥820,149 の寄付。
- ・ スリーエムジャパン株式会社より ¥6,240,000 の寄付。
- ・ いけばな桂古流よりいけばなの色紙。
- ・ 曹洞宗慈照山日輪寺より守護札。
- ・ 株式会社大塚製薬工場より希望する会員への経口補水液オーエスワン（OS-1）の提供。

13. 他学会合同事業

外来抗菌薬適正使用調査委員会の第 2 回アンケート調査を行なった（日本化学療法学会合同）。

14. 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会

単純性膀胱炎、複雑性尿路感染症

15. ICD 制度協議会

新規認定者 268 名 有資格者数 3,485 名（当学会推薦）

※上記事業報告については、感染症学雑誌に掲載の議事録参照。

庶務報告

1. 会員数 正会員：10,733名 賛助会員：22件 令和3年2月28日現在
除名については該当者無し
2. 第94回日本感染症学会総会は令和2年4月18日、グランドニッコー東京 台場において行った。
3. 令和2年度評議員会は令和2年4月18日、グランドニッコー東京 台場において行った。
4. 理事会は7回行った。
5. 感染症学雑誌編集委員会は対面での会議は行わずメール審議とした。
Journal of Infection and Chemotherapy 編集委員会は1回WEB会議を行った。
6. 学会賞選考委員会は1回行った。
7. 専門医審議会1回、専門医育成・教育部会会議1回をWEB会議にて行った。専門医試験委員会3回行った。
8. 学際化・国際化委員会は1回行った。
9. 男女共同参画推進委員会は1回WEB会議にて行った。
10. インフルエンザ委員会は1回WEB会議にて行った。インフルエンザ-COVID ad hoc 委員会は3回行った。
11. 臨床研究促進委員会 (COVID-19 臨床研究 ad hoc 委員会：8回、レジオネラ検討委員会：6回) 行った。
12. 中日本地方会・西日本地方会を統合し、静岡県を東日本の該当県とすることが理事会で承認された(時期は未定)。
13. 当学会の名を騙り商品購入を迫る行為があったとの情報提供があり、HPで注意喚起を行った。

第2号 令和3年度事業計画および正味財産増減予算書について

事業計画

1. 感染症に対する調査および研究ならびにこれらの援助、今年度の優秀業績の表彰
2. 感染症に関する学術講演の開催
 - ・2021年5月7日～9日の3日間、横浜市・パシフィコ横浜 会議センターにおいて、第95回日本感染症学会学術講演会(会長・藤田次郎)開催予定。
 - ・2021年10月27日～29日の3日間、東京都・東京ドームホテルにおいて、第70回東日本地方会学術集会(会長・四柳 宏)開催予定。
 - ・2021年11月5日～7日の3日間、岐阜県・長良川国際会議場・都ホテル岐阜長良川において、第64回中日本地方会学術集会(会長・村上啓雄)および第91回西日本地方会学術集会(会長・柳原克紀)開催予定。
3. 感染症に関する学術図書の刊行
 - 感染症学雑誌 刊行回数 隔月(6回) オンラインジャーナル
 - 学術講演会プログラム講演抄録集 部数：11,500部
 - Journal of Infection and Chemotherapy 年12回 オンラインジャーナル
4. 専門医制度
 - ・第24回感染症専門医資格認定試験を9月に実施する。
 - ・認定指導医、認定研修施設を募集する。
 - ・指導医講習会を第95回日本感染症学会学術講演会、第70回東日本地方会学術集会、第64回中日本地方会学術集会、第91回西日本地方会学術集会に於いて実施する。
 - ・感染症専門医を目指す若手医師を対象としたアドバンスト・サマースクール、ベーシックスクールを開催する。
 - ・第32回～第34回症例から学ぶ感染症セミナーを開催する。
 - ・日本専門医機構と相互に連絡協調し、新専門医制度下のサブスペシャリティ領域制度設計を行う。
 - ・症例登録システム JAID-J-0sler の運用を開始する(会員：¥16,000(税別) 予定・登録時のみ、非会員：¥40,000(税別) 予定・毎年)。
5. 提言・ガイド・ガイドライン
 - ・JAID/JSC 感染症治療ガイドの改訂を行う。
 - ・MRSA 感染症の治療ガイドラインの改訂を行う。
 - ・*Clostridioides (Clostridium) difficile* の感染症診療ガイドラインの改訂を行う。
6. 第4回臨床研究促進助成事業を行う。
7. 男女共同参画推進委員会において学術講演会時等での企画を検討する。
8. DPCを用いた臨床研究を行う。
9. 新型インフルエンザの診療に関する研修を日本呼吸器学会と合同で行う。
10. 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス事業に参加する(継続)(小児科、尿道炎(淋菌)、耳鼻咽喉科領域)。
11. 三学会合同リネゾリド適正使用委員会を開催する(継続)。
12. JaSA 事業に参加する(継続)。
13. ICD 制度協議会に加盟する(継続)。
14. 認定臨床微生物検査技師制度協議会および感染制御認定臨床微生物検査技師制度協議会に加盟する(継続)。
15. 日本微生物学連盟に加盟する(継続)。
16. 予防接種推進専門協議会に加盟する(継続)。
17. 内科系学会社会保険連合に加盟する(継続)。
18. 一般社団法人日本医療安全調査機構に加盟する(継続)。
19. 一般社団法人医療安全全国行動に加盟する(継続)。

20. 東京オリンピック 2020 に係る救急災害医療体制検討合同委員会に加盟する（継続）。
21. 日本環境感染学会と合同で FUSEGU2020 事業を行う（継続）。
22. 日本医学会、日本医学会連合に評議員および連絡員を派遣し、医学発展のために各種問題につき相互に連絡協調する。
23. 関係学術団体との連絡協議。

正味財産増減予算書について（別表 4）

審議事項

第 1 号議案 貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録（2021 年 2 月末日現在）承認について

2020 年度貸借対照表は別表 1、正味財産増減計算書は別表 2、財産目録は別表 3 の通りである。

第 2 号議案 理事および監事の承認について

（任期：2021 年 4 月 19 日～2023 年総会まで）

理事候補者

大毛 宏喜（広島大学病院感染症科 教授）	（重任）
大曲 貴夫（国立国際医療研究センター国際感染症センター センター長）	（新任）
川名 明彦（防衛医科大学校内科学講座（感染症・呼吸器） 教授）	（重任）
齋藤 昭彦（新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野 教授）	（新任）
菅井 基行（国立感染症研究所薬剤耐性研究センター センター長）	（重任）
中村 敦（名古屋市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 教授）	（新任）
西 順一郎（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科微生物学分野 教授）	（重任）
長谷川直樹（慶應義塾大学医学部感染症学教室 教授）	（新任）
三嶋 廣繁（愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 教授）	（重任）
光武耕太郎（埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科 教授）	（新任）
迎 寛（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野（第二内科） 教授）	（重任）
八木 哲也（名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染制御学分野 教授）	（重任）
柳原 克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科展開医療科学講座病態解析・診断学分野 教授）	（新任）
山本 善裕（富山大学大学院医学薬学研究部感染予防医学講座 教授）	（新任）
四柳 宏（東京大学医科学研究所感染症分野 教授）	（重任）

監事候補者

飯沼 由嗣（金沢医科大学臨床感染症学講座 教授）	（重任）
館田 一博（東邦大学医学部微生物・感染症学講座 教授）	（新任）
藤田 次郎（琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学 教授）	（重任）

第 3 号議案 次期会長承認について

埼玉医科大学感染症科・感染制御科 前崎 繁文 教授

第 4 号議案 次々期会長候補者選任について

東京大学医科学研究所感染症分野 四柳 宏 教授

第 5 号議案 次々期総会開催地および会期について

第 6 号議案 名誉会員および功労会員承認について

名誉会員推薦：鈴木 賢二 先生、戸塚 恭一 先生

功労会員推薦：網谷 良一 先生、生方 公子 先生、小田切繁樹 先生、永淵 正法 先生、和田 光一 先生

その他

令和2年度新任評議員

1. 金坂伊須萌 (東邦大学看護学部感染制御学)
2. 阪本 直也 (東京都立墨東病院感染症科)
3. 北川 浩樹 (広島大学病院感染症科)
4. 宇野 健司 (南奈良総合医療センター感染症内科)
5. 坂本 憲徳 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野)
6. 田中 健之 (長崎大学病院感染制御教育センター)
7. 小川 拓 (奈良県立医科大学感染症センター)
8. 田沼 順子 (国立国際医療研究センター)
9. 水島 大輔 (国立国際医療研究センター)
10. 渡辺 恒二 (国立国際医療研究センター)
11. 祖母井庸之 (帝京大学医学部微生物学講座)
12. 冲中 敬二 (国立がん研究センター東病院総合内科)
13. 菊池健太郎 (帝京大学医学部附属溝口病院第四内科)
14. 伊藤 穰 (名古屋市立大学呼吸器・免疫アレルギー内科学)
15. 上菘 義典 (慶応義塾大学医学部臨床検査医学教室)
16. 中西 康大 (SUBARU 太田記念病院歯科口腔外科)
17. 定平 卓也 (岡山大学病院泌尿器科)
18. 土井 朝子 (神戸市立医療センター中央市民病院感染症科)

令和2年度

物 故 会 員

1. 増山 泰治 先生 (正会員) (2019年 8月 日)
2. 清水 輝久 先生 (正会員) (2019年10月15日)
3. 星野 浩一 先生 (評議員) (2019年12月 日)
4. 河北 成一 先生 (功 勞) (2020年 1月24日)
5. 坂本 春生 先生 (評議員) (2020年 4月14日)
6. 大久保健作 先生 (正会員) (2020年 5月11日)
7. 永瀬金一郎 先生 (正会員) (2020年 5月31日)
8. 若杉 和倫 先生 (正会員) (2020年 6月 日)
9. 平松 啓一 先生 (正会員) (2020年 6月 5日)
10. 柳ヶ瀬康夫 先生 (評議員) (2020年 7月27日)
11. 國井 乙彦 先生 (名 譽) (2020年 8月17日)
12. 岩破 一博 先生 (評議員) (2020年 8月20日)
13. 飯沼 雅朗 先生 (正会員) (2020年 8月28日)
14. 白濱 重國 先生 (正会員) (2020年 9月 7日)
15. 高田 道夫 先生 (功 勞) (2020年11月 3日)
16. 酒井 力 先生 (正会員) (2021年 1月13日)
17. 川名 林治 先生 (名 譽) (2021年 2月20日)
18. 紺野 昌俊 先生 (名 譽) (2021年 3月30日)
19. 西村 勉 先生 (正会員) (年 月 日)
20. 木田 隆雄 先生 (正会員) (年 月 日)
21. 長谷川英之 先生 (正会員) (年 月 日)
22. 田村 弘 先生 (正会員) (年 月 日)

貸借対照表

令和3年2月28日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	165,043,929	171,138,461	△ 6,094,532
未収金	4,624,236	882,036	3,742,200
流動資産合計	169,668,165	172,020,497	△ 2,352,332
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当資産	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
学会賞基金引当資産	13,300,000	13,300,000	0
新興再興感染症事業引当資産	70,950,000	70,950,000	0
退職給付引当資産	19,198,927	18,269,124	929,803
国際学術交流引当資産	27,350,000	27,350,000	0
専門医事業引当資産	30,000,000	30,000,000	0
英文誌発行引当資産	17,814,271	17,814,271	0
学術講演会基金引当資産	85,000,000	85,000,000	0
特定資産合計	263,613,198	262,683,395	929,803
(3) 定期預金			
定期預金	6,551,073	7,480,876	△ 929,803
定期預金合計	6,551,073	7,480,876	△ 929,803
(4) その他固定資産			
器具備品	396,681	3	396,678
ソフトウェア	14,512,119	18,469,971	△ 3,957,852
電話加入権	303,068	303,068	0
差入保証金	96,000	27,000	69,000
その他固定資産合計	15,307,868	18,800,042	△ 3,492,174
固定資産合計	305,472,139	308,964,313	△ 3,492,174
資産合計	475,140,304	480,984,810	△ 5,844,506
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,313,048	5,470,429	△ 4,157,381
前受金	1,533,000	1,005,000	528,000
預り金	1,141,584	709,341	432,243
流動負債合計	3,987,632	7,184,770	△ 3,197,138
2. 固定負債			0
退職給付引当金	19,198,927	18,269,124	929,803
固定負債合計	19,198,927	18,269,124	929,803
負債合計	23,186,559	25,453,894	△ 2,267,335
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	451,953,745	455,530,916	△ 3,577,171
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(244,414,271)	(244,414,271)	0
正味財産合計	451,953,745	455,530,916	△ 3,577,171
負債及び正味財産合計	475,140,304	480,984,810	△ 5,844,506

正味財産増減計算書

令和2年3月 1日から

令和3年2月28日まで

単位円

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	87,389,000	89,506,000	△ 2,117,000
正会員受取会費	85,189,000	87,206,000	△ 2,017,000
賛助会員受取会費	2,200,000	2,300,000	△ 100,000
事業収益	162,331,960	246,500,175	△ 84,168,215
総会講演会収益	49,755,000	176,957,320	△ 127,202,320
地方会講演会収益	57,045,120	44,233,001	12,812,119
雑誌刊行収益	24,262,982	14,819,651	9,443,331
専門医業務収益	6,400,000	8,510,000	△ 2,110,000
COVID-19重症化因子探索事業収益	968,000	0	968,000
サーベイランス事業収益	7,608,208	1,468,787	6,139,421
リネゾリド事業収益	0	511,416	△ 511,416
FUSEGU2020事業収益	16,292,650	0	16,292,650
補助金	3,100,000	150,000	2,950,000
受取寄付金	18,778,316	19,829,334	△ 1,051,018
雑収益	9,371,371	10,008,176	△ 636,805
雑収益	9,344,109	9,983,908	△ 639,799
受取利息	27,262	24,268	2,994
経常収益計	280,970,647	365,993,685	△ 85,023,038
(2) 経常費用			
事業費	264,312,285	269,594,442	△ 5,282,157
給料	17,638,956	14,478,156	3,160,800
賃金	4,455,900	4,164,353	291,547
福利厚生費	3,426,080	2,599,771	826,309
印刷費	33,403,817	34,974,820	△ 1,571,003
通信費	5,303,170	3,769,467	1,533,703
発送費	10,449,572	9,335,509	1,114,063
消耗品費	9,682,855	11,240,246	△ 1,557,391
会議費	1,101,566	15,360,100	△ 14,258,534
学会賞費	1,000,000	1,000,000	0
賃借料	58,915,145	45,894,564	13,020,581
業務委託費	103,481,155	85,476,500	18,004,655
光熱水費	332,842	335,441	△ 2,599
旅費交通費	1,491,867	21,847,770	△ 20,355,903
研究助成費	2,000,000	2,000,000	0
諸謝金	2,776,167	6,111,951	△ 3,335,784
国際会議分担金	0	2,000,000	△ 2,000,000
退職給付費用	598,433	607,867	△ 9,434
減価償却費	4,024,362	1,319,284	2,705,078
租税公課	2,262,900	5,644,600	△ 3,381,700
雑費	1,967,498	1,434,043	533,455
管理費	20,235,533	21,229,576	△ 994,043
給料	8,140,941	7,277,182	863,759
賃金	907,038	1,289,121	△ 382,083
福利厚生費	1,294,004	1,134,381	159,623
通信費	1,684,332	1,400,076	284,256

消耗品費	482,070	223,026	259,044
会議費	20,768	189,048	△ 168,280
賃借料	1,994,650	2,022,485	△ 27,835
業務委託費	767,323	1,389,197	△ 621,874
光熱水費	36,982	37,271	△ 289
旅費交通費	841,796	1,793,356	△ 951,560
諸謝金	2,915,955	2,927,482	△ 11,527
退職給付費用	331,370	694,837	△ 363,467
雑費	818,304	852,114	△ 33,810
経常費用計	284,547,818	290,824,018	△ 6,276,200
当期経常増減額	△ 3,577,171	75,169,667	△ 78,746,838
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,577,171	75,169,667	△ 78,746,838
一般正味財産期首残高	455,530,916	380,361,249	75,169,667
一般正味財産期末残高	451,953,745	455,530,916	△ 3,577,171
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	451,953,745	455,530,916	△ 3,577,171

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (2) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・職員に対する退職金の支給に備えるため、期末における要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
学会賞基金引当資産	13,300,000	0	0	13,300,000
新興再興感染症事業引当資産	70,950,000	0	0	70,950,000
退職給付引当資産	18,269,124	929,803	0	19,198,927
国際学術交流引当資産	27,350,000	0	0	27,350,000
専門医事業引当資産	30,000,000	0	0	30,000,000
英文誌発行引当資産	17,814,271	0	0	17,814,271
学術講演会基金引当資産	85,000,000	0	0	85,000,000
小 計	262,683,395	929,803	0	263,613,198
合 計	282,683,395	929,803	0	283,613,198

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	-	(20,000,000)	-
小 計	20,000,000	0	(20,000,000)	0
特定資産				
学会賞基金引当資産	13,300,000	-	(13,300,000)	-
新興再興感染症事業引当資産	70,950,000	-	(70,950,000)	-
退職給付引当資産	19,198,927	-	-	(19,198,927)
国際学術交流引当資産	27,350,000	-	(27,350,000)	-
専門医事業引当資産	30,000,000	-	(30,000,000)	-
英文誌発行引当資産	17,814,271	-	(17,814,271)	-
学術講演会基金引当資産	85,000,000	-	(85,000,000)	-
小 計	263,613,198	0	(244,414,271)	(19,198,927)
合 計	283,613,198	0	(264,414,271)	(19,198,927)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	1,754,358	1,357,677	396,681
ソフトウェア	19,789,255	5,277,136	14,512,119
合 計	21,543,613	6,634,813	14,908,800

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	18,269,124	929,803	-	-	19,198,927

財産目録

令和3年2月28日現在

(単位円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金		
現金手許有高	29,876	
(2) 普通預金		
三菱UFJ銀行 東恵比寿支店	70,269,159	
三菱UFJ銀行 東恵比寿支店	4,140,882	
三菱UFJ銀行 東恵比寿支店	5,361,135	
三菱UFJ銀行 本郷支店	7,715,472	
三菱UFJ銀行 春日町支店	2,869,308	
みずほ銀行 本郷支店	1,202,698	
ゆうちょ銀行 通常貯金	4,174,317	
三井住友銀行 小石川支店	194,747	
三菱UFJ銀行 本郷支店	4,968,481	
十六銀行 黒野支店	1,999,863	
十八親和銀行 大学病院前支店	9	
みずほ銀行 本郷支店 (JIC)	4,504,520	
みずほ銀行 本郷支店 (サーベイランス)	17,211,421	
みずほ銀行 本郷支店 (リネゾリド適正使用)	1,686,752	
三菱UFJ銀行 本郷支店 (FUSEGU)	3,135,537	
(3) 郵便振替		
ゆうちょ銀行 東京貯金事務センター	5,055,429	
ゆうちょ銀行 東京貯金事務センター	30,524,323	
(4) 未収金		
雑誌雑収入	1,210,000	
掲載料	465,736	
COVID-19重症化因子探索	968,000	
租税公課 (消費税)	1,980,500	
流動資産合計		169,668,165
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産引当資産		
三菱UFJ銀行 春日町支店 定期預金	10,000,000	
三井住友銀行 小石川支店 定期預金	10,000,000	
(2) 特定資産		
1. 学会賞基金引当資産		
みずほ銀行 本郷支店 定期預金	13,300,000	
2. 新興再興感染症事業引当資産		
みずほ銀行 本郷支店 定期預金	10,950,000	
三菱UFJ銀行 本郷支店 定期預金	30,000,000	
三菱UFJ銀行 春日町支店 定期預金	30,000,000	
3. 退職給付引当資産		
みずほ銀行 本郷支店 定期預金	19,198,927	
4. 国際学術交流引当資産		
みずほ銀行 本郷支店 定期預金	27,350,000	

5. 専門医事業引当資産			
三菱UFJ銀行 東恵比寿支店 定期預金	9,000,000		
三菱UFJ銀行 本郷支店 定期預金	20,000,000		
みずほ銀行 本郷支店 定期預金	1,000,000		
6. 英文誌発行引当資産			
三菱UFJ銀行 本郷支店 定期預金	17,814,271		
7. 学術講演会基金引当資産			
ゆうちょ銀行 定額貯金	10,000,000		
三菱UFJ銀行 東恵比寿支店 定期預金	20,000,000		
三菱UFJ銀行 本郷支店 定期預金	10,000,000		
みずほ銀行 本郷支店 定期預金	5,000,000		
三井住友銀行 小石川支店 定期預金	40,000,000		
(3) 定期預金			
みずほ銀行 本郷支店	6,551,073		
(4) その他固定資産			
1. 器具備品 書庫 他	396,681		
2. ソフトウェア	14,512,119		
3. 電話加入権			
03-3812-6170 80,300			
03-3812-6180 72,800			
03-5842-5845 (5846) 74,984			
預りH1509004164 74,984	303,068		
4. 差入保証金	96,000		
固定資産合計		305,472,139	
資産合計			475,140,304
II. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税 他	1,141,584		
未払金			
福利厚生費	1,243,048		
租税公課	70,000		
前受金			
前受会費	1,533,000		
流動負債合計		3,987,632	
2. 固定負債			
退職給付引当金	19,198,927		
固定負債合計		19,198,927	
負債合計			23,186,559
正味財産			451,953,745

サーベイランス事業収支決算書
(令和2年3月1日から令和3年2月28日まで)

(単位円)

収入の部	合算	日本感染症学会	日本化学療法学会	日本臨床微生物学会
1. 賛助会費	19,100,000	6,366,667	6,366,667	6,366,666
2. 受託事業収入	11,550,000	3,850,000	3,850,000	3,850,000
3. 測定費用収入	4,300,623	1,433,541	1,433,541	1,433,541
4. 菌株分与収入	6,974,000	2,324,667	2,324,666	2,324,667
5. 利息	294	98	98	98
小 計	41,924,917	13,974,973	13,974,972	13,974,972
前年度繰越金	34,861,449	11,620,483	11,620,483	11,620,483
合 計	76,786,366	25,595,456	25,595,455	25,595,455
支出の部				
6. 消耗品費	899,273	299,758	299,757	299,758
7. 印刷費	48,577	16,192	16,192	16,193
8. 給与手当	234,850	0	234,850	0
9. 通信運搬費	155,876	51,958	51,959	51,959
10. 旅費交通費	123,760	41,254	41,253	41,253
11. 業務委託費	23,138,118	7,827,656	7,482,807	7,827,655
12. 謝金	110,000	0	110,000	0
13. 審査費	440,000	146,667	146,666	146,667
14. 雑費	1,650	550	550	550
小 計	25,152,104	8,384,035	8,384,034	8,384,035
次年度繰越金	51,634,262	17,211,421	17,211,421	17,211,420
合計	76,786,366	25,595,456	25,595,455	25,595,455

※賛助会費は寄付金である

令和3年度正味財産増減予算書

令和3年3月 1日から

令和4年2月28日まで

(単位円)

科 目	予算額	前年度予算額	差 異
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	86,600,000	86,300,000	300,000
正会員受取会費	84,400,000	84,000,000	400,000
賛助会員受取会費	2,200,000	2,300,000	△ 100,000
事業収益	133,230,000	112,230,000	21,000,000
総会講演会収益	41,590,000	14,700,000	26,890,000
地方会講演会収益	57,780,000	59,280,000	△ 1,500,000
雑誌刊行収益	11,210,000	18,000,000	△ 6,790,000
専門医業務収益	8,380,000	8,250,000	130,000
COVID-19重症化因子探索事業収益	5,170,000	0	5,170,000
サーベイランス事業収益	7,600,000	0	7,600,000
FUSEGU2020事業収益	1,500,000	12,000,000	△ 10,500,000
受取寄付金	16,300,000	19,820,000	△ 3,520,000
受取補助金	190,000	0	190,000
雑収益	14,880,000	8,640,000	6,240,000
雑収益	14,850,000	8,540,000	6,310,000
受取利息	30,000	100,000	△ 70,000
経常収益計	251,200,000	226,990,000	24,210,000
(2) 経常費用			
事業費	217,590,000	281,110,000	△ 63,520,000
給料	21,310,000	15,900,000	5,410,000
賃金	2,430,000	3,300,000	△ 870,000
福利厚生費	3,360,000	2,480,000	880,000
印刷費	24,580,000	36,400,000	△ 11,820,000
通信費	4,810,000	4,590,000	220,000
発送費	4,750,000	10,410,000	△ 5,660,000
消耗品費	9,760,000	14,050,000	△ 4,290,000
会議費	7,510,000	21,130,000	△ 13,620,000
学会賞費	1,000,000	1,000,000	0
研究奨励費	2,000,000	2,000,000	0
賃借料	42,280,000	47,970,000	△ 5,690,000
業務委託費	73,050,000	88,030,000	△ 14,980,000
光熱水費	470,000	350,000	120,000
旅費交通費	10,340,000	20,530,000	△ 10,190,000
諸謝金	2,820,000	3,820,000	△ 1,000,000
退職給付費用	900,000	1,360,000	△ 460,000
減価償却費	4,190,000	3,960,000	230,000
租税公課	70,000	1,210,000	△ 1,140,000
雑費	1,960,000	2,620,000	△ 660,000
管理費	25,700,000	19,960,000	5,740,000
給料	13,430,000	7,400,000	6,030,000
賃金	10,000	130,000	△ 120,000
福利厚生費	2,140,000	1,190,000	950,000
通信費	1,960,000	1,960,000	0

消耗品費	230,000	320,000	△ 90,000
会議費	300,000	300,000	0
賃借料	2,080,000	2,000,000	80,000
業務委託費	210,000	300,000	△ 90,000
光熱水費	50,000	40,000	10,000
旅費交通費	2,050,000	2,050,000	0
諸謝金	2,140,000	3,000,000	△ 860,000
退職給付費用	200,000	370,000	△ 170,000
雑費	900,000	900,000	0
経常費用計	243,290,000	301,070,000	△ 57,780,000
当期経常増減額	7,910,000	△ 74,080,000	81,990,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
II. 予備費	25,000,000	25,000,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 17,090,000	△ 99,080,000	81,990,000
一般正味財産期首残高	451,960,000	455,530,000	△ 3,570,000
一般正味財産期末残高	434,870,000	356,450,000	78,420,000
III. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
IV. 正味財産期末残高	434,870,000	356,450,000	78,420,000